

1 指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2 指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況(40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合	開館時間中(10:00~18:00)は自由来館としている。	-
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値 (例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		・乳幼児クラブは他地域の参加もあり、次年度継続も多い。 ・スポーツ目的で来館していた中学生が進級し、来館が減少。 ・低学年は学童利用が多く、高学年は習い事や塾等で平日夕方や土曜日のクラブ参加が難しく来館数が伸び悩み。 【元年度】来館者数 7,734人 乳幼児:2,261人 小学生:2,179人 中高生:215人 大人:3,079人 【30年度】来館者数 8,580人 乳幼児:2,596人 小学生:2,324人 中高生:333人 大人:3,327人 【29年度】来館者数 10,316人 乳幼児:2,694人 小学生:4,137人 中高生:161人 大人:3,324人 【28年度】来館者数 10,118人 乳幼児:2,629人 小学生:4,193人 中高生:156人 大人:3,140人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計44回開催、延べ891名参加) ・児童を対象とした事業(計50回開催、延べ483名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計2回開催、延べ102名参加) ・中高生事業(計3回開催、延べ25名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計59回開催、延べ443名参加) ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 14点	・仕様書に基づき適正に事業を実施している。 ・実施に際し、保健センターや地域との連携が出来ている。 ・児童の発表の場やボランティア活動の場を地域行事において多く確保し、児童の活躍を地域へ発信している。	14点
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点、 内容・事業数等が例年通り:11~9点、 内容・事業数等が例年よりやや劣る:8~7点、 内容・事業数等が例年より劣る:6~3点、 内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計54回開催、延べ1,175名参加) ・児童を対象とした事業(計38回開催、延べ225名参加) ・地域交流多世代間交流事業(計24回開催、延べ528名参加) ・中高生事業(計9回開催、延べ27名参加) ・子育て相談と子育てネットワークづくりの推進(計6回開催、延べ41名参加) ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 14点	・他団体や地域と連携し、季節行事や節句行事等を通じて多世代での交流を深めている。 ・乳幼児の英語事業等コースに対応している。 ・地域事業が減少し、地域交流に影響している。	14点		

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
2	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する(適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり:2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、細目に様子を見て清掃。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
				電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
				非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
				遊戯室ドアノブのぐらつき修繕 (2,178円) 輪転機修理(1,1500円) 10万円未満の為仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
				毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。 道路に面している2箇所に「飛び出し注意」看板を取り付け。 館内にハザードマップを掲示。 道路河川課により、館庭の側溝に蓋を取り付けた。 気づいた時に随時「ヒヤリハット報告書」を作成し、職員間で周知している。	適正(普通) 2点	・日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する(期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき適正に管理されている。	10点
				「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定し、プール遊びで残った水は打ち水にして暑さ対策にする、施設の南と東側にミストを取り付ける、夏は高窓を開け風通しを良くし、冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用。関係機関への連絡はメールを利用。 乳幼児クラブや児童の工作材料を、牛乳パックやトレイ、ペットボトル等を利用し、各家庭でも実践できるよう保護者へ提案している。 寄付で頂いた絵本やおもちゃ等は安全に使用できるかを判断し、児童館で積極的に活用している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
				入り口や廊下にできるだけ物を置かないようにし、スペースを確保している。様式トイレに幼児用便座、ウォータークーラーにはステップを設置している。 廊下の角やラックの突起に、衝突防止用のクッションを取り付けている。 玄関入口のドアは、安全に利用できるよう開閉速度を調節している。 児童館の場所が分かりづらいとの声を受け、事業で制作した工事用囲い看板を引き取り道路から見やすい位置に設置した。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
				備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
				特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
3	当該施設の経営状況(5点)	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、 105%未満~100%:4点、 100%未満:3点	収入 10,627,100円 ÷ 支出 10,261,232円 ≒ 104%	105%未満 ~ 100% 4点	・指定管理料の範囲内で適正に事業が実施されている。	4点
				事故等への対応は減点対象とする (事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等対応に不備あり: △1点)	0	事故なし。	事故なし・対応に不備なし 0点

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
	(1)市民・利用者の声の反映(15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10 期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	・窓口に見聞箱を設置するとともに、乳幼児クラブ終了時にアンケートを実施し、行事開催後にも感想・意見を聞く場を設けた。 ・乳幼児クラブにて、30年度に実施したアンケート調査をもとに、講師を招いての運動あそびやベビーヨガを取り入れた。また、要望のあった0歳児クラスのさんぽやベビーマッサージ等も積極的に取り入れ、アンケートだけでなくクラブ後の会話等からもニーズを把握し次年度の計画に反映させた。	期待以上 8点	・定期的にアンケートを実施し利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。	8点
		②苦情対応	5 期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	特になし。	苦情なし・適正(普通)4点	・ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点
4 より良い施設運営のための取組(30点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・まなびパークの生涯学習コーディネーター事業を10月12月1月で5回共催。公民館がない地域で、公民館に変わる施設利用として中央児童館で実施。 ・毎月のおたよりは、子ども達といっしょに作成。タイトルや挿絵等、子ども達が季節を考え描いたものを使用し、児童館事業における積極的な児童参画を推進している。 ・地元の関係団体に対し、おたよりやホームページにより施設を周知し、利用促進に努めた。市の一斉清掃にも積極的に参加し、周辺住民の方々と共に地域の清掃活動を実施。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を実施。(5/10東京ニッショーホール・2/8~9明治学院大学) ・4/24「みんなのおうちコーディネータ養成研修(東京池袋本部)」・1/15~16「全国事業推進会議(東京日本教育会館)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計9回開催。 ・6/9「東海基礎研修」・7/14「東海子育てプロジェクト」・1/26「東海よい仕事集会」等、愛知岐阜静岡エリアブロックにおいても研究交流会を開催。 ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第4月曜日を基本に開催。 (4/15組織理解基本研修・5/27普通救命救急講習(笠原消防署)をはじめ、児童館ガイドライン研修・リスクマネジメントとヒヤリハット学習会・集団および個別援助研修・ぎふ木育講習・スキルトイ実技・製作実践指導など専門性を高める研修。その他事務研修としてホームページ更新法および電算システム実務研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:児童健全育成推進財団】5/24健全育成専門セミナー 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】5/31総会研修会・9/13館長研修会・10/2東濃ブロック児童厚生員研修会・10/30東濃地区児童館職員等研修会 【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】8/29ぎふ木育リスクマネジメント安全管理研修・2/25ぎふ木育ひろばフォローアップ研修	期待以上 14点	・公民館がない地域で、公民館に変わる施設としても事業を実施している。 ・地域行事への参加、地域連携を積極的に行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努める姿が見られる。	14点	
5 その他(減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1~△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし減点なし	・適正に実施されている。	0点	
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1~△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり減点なし	・適正に実施されている。	0点	
合計		100	【4段階評価】 極めて良好 100~85点 良好 84~65点 努力が必要 64~45点 取消し等を検討 44点以下			84点	
						全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・公民館にかわる施設として積極的に地域連携を進めている点を評価。	良好